

■ 平成 20 年度事業概要 ■

I 文学資料の収集・整理・保存及び閲覧事業

購入資料受入れ総数（図書・雑誌及び特別資料等）	1,236 点
寄贈資料受入れ総数（同上）	3,346 点
計	4,582 点

整理・保存 収蔵資料のコンピュータ入力並びに寄贈・寄託目録作成等
収蔵資料データベースの公開・検索システムの構築

閲覧 利用者 延 4,849 人

II 展覧会事業

(1) 展覧会開催事業

区分	事業名	実施時期 (日数)	観覧者数 (人)	展覧会の概要
	常設展 北海道の文学	通年 (308 日間)	9,414	北海道の文学を時系列に従いつつジャンル別に構成し、解説している。ビジュアルな展示スタイルに主眼を置き、直筆原稿・遺品・初版本・書簡・写真などの貴重な資料 1,350 点を公開している。(◎展示構成を次頁に掲載。)
	特別企画展 詩の黄金の庭 吉増剛造展	6/28(土) ～ 8/31(日) (56 日間)	1,716	世界を舞台に現代詩の最前線で創作を続ける詩人吉増剛造の活動を、吉増自作の写真作品、銅板オブジェ、映像作品を交えて紹介した。詩という文字媒体の芸術が写真・映像など他ジャンルの表現領域へと広がってゆく吉増の作品世界を通し、言語の持つ可能性について示唆することが出来た。
	企画展 馬たちがいた 加藤多一と北の風景	4/26(土) ～ 6/15(日) (44 日間)	2,911	北海道滝上町生まれの童話作家、加藤多一の文学作品とその絵本原画により加藤多一の文学世界を紹介。加藤多一とゆかりのある美術家たちの原画作品を一堂に鑑賞できる初めての展覧会として、文学と絵画が織り成す芸術世界を味わう好機となった。
	企画展 鳥のことば・人のことば 加藤幸子の見つめる世界	10/25(土) ～ 12/14(日) (44 日間)	1,999	札幌市出身の芥川賞作家、加藤幸子の文学の世界を広く道民に紹介。自然や動植物と人との関わりを見つめ続ける彼女の姿勢をとおして、自然の偉大さや自然環境を守る人間のあり方を示唆する展覧会になった。
	企画展 文学の鬼を志望す 八木義徳	1/31(土) ～ 3/29(日) (50 日間)	1,968	室蘭市出身の芥川賞作家、八木義徳の没後 10 年を契機に、八木が晩年を過ごした東京都町田市市民文学館との共催で、初めての本格的な展覧会を行った。生涯との中で生まれた作品を中心に、八木義徳という人物と作品の魅力を紹介した。
貸館	知床断章 詩と書のであい	1/4(日) ～ 1/15(木) (10 日間)	1,009	(財)北海道文学館・書究文化書芸院の共催。知床の春夏秋冬をテーマにした原子修の叙事詩《知床断章》を、書家の山田起雲が秀麗な筆致で謳い上げた作品を展示。

〈常設展示室に「文学館アーカイブ（新着資料）コーナー」設置〉

- ・第 1 期展示 8 月 16 日(土)～9 月 30 日(火)
「札幌市街之図」(1876 年、作製者不明)など札幌市の古地図(北海道北方博物館交流協会理事長・歴史研究：舟山廣治氏寄贈資料)
- ・第 2 期展示 10 月 1 日(水)～12 月 26 日(金)
下母沢寛、武林無想庵、知里眞志保、伊藤整の各自筆原稿(当館蔵)
- ・第 3 期展示 1 月 4 日(日)～3 月 29 日(日)
「丹下左膳」などで知られ三つのペンネームを持つ函館育ちの作家：長谷川海太郎(1900-1935)の自筆原稿など(当館蔵)

(2) 常設展の展示構成

〈北海道の文学、その歴史〉〔神谷忠孝・平原一良〕

◆20世紀への胎動 久保栄「五稜郭血書全5幕」自筆原稿、北方謙三「林蔵の貌」自筆原稿、高倉新一郎『札幌農学校』 ◆助走期の苦闘 有島武郎・木田金次郎宛書簡、武者小路実篤「武郎さんと僕」自筆原稿、雑誌「白樺」 ◆漂泊と彷徨 国木田独歩「欺かざるの記」複製原稿、幸田露伴「二日物語 此一日」複製原稿、石川啄木「雲は天才である」複製原稿 ◆道産子作家の誕生 武林無想庵「アルバム」自筆原稿、森田たま「きもの博士」自筆原稿、中戸川吉二・久米艶子宛書簡 ◆逆流のさなかで 小林多喜二「故里の顔」複製原稿、久保栄「火山灰地」自筆原稿、本庄陸男「逆流」自筆原稿 ◆モダニズムの台頭 伊藤整「文学的青春伝」自筆原稿、中村武羅夫自筆色紙、岡田三郎「かぼちゃ談義」自筆原稿 ◆戦火の中で 辻村もと子「馬追原野」自筆原稿、石塚喜久三「花の海」自筆原稿、坂本直行自筆カット原画 ◆復興と再生 畔柳二美「こぶしの花の咲くころ」自筆原稿、風巻景次郎「札幌地理学」複製原稿、船山馨遺品 ◆成長期の精華 雑誌「北海文学」（原田康子「挽歌」掲載）、和田芳恵「五十年ぶりの帰郷」自筆原稿、李恢成自筆色紙、三浦綾子短冊（三浦光世筆） ◆変転する現代 高橋揆一郎『『伸子』覚え書き』自筆原稿、吉村昭「赤い人」自筆原稿、渡辺淳一「リラ冷えの街」自筆原稿

〈北海道の詩〉〔原子修〕

◆「現代の詩」の創造に挑んだ〈風の詩人〉たち 吉田一穂「魚歌」自筆扁額、小熊秀雄画「裸婦」 ◆「現代の詩」を北の大地に根づかせた〈土の詩人〉たち 更科源蔵「河童十二ヶ月」複製原稿、和田徹三「命」自筆原稿、河邨文一郎「オホーツク」自筆原稿 ◆「現代の詩」の新しい可能性を求めて 原子修自筆色紙

〈北海道の短歌〉〔山名康郎〕

◆北海道歌壇の動き 山下秀之助、酒井廣治、小田観螢、中城ふみ子ほか ◆来道歌人 斎藤茂吉、与謝野寛、与謝野晶子、斎藤史、宮柊二ほか ◆口語短歌 鳴海要吉、石川啄木ほか ◆アイヌの歌人 バチラー八重子、遠星北斗、森竹竹市ほか

〈北海道の俳句〉〔木村敏男〕

◆北方俳句の夜明け 松窓乙二、河東碧梧桐、牛島勝六、高浜虚子、長谷川零餘子、臼田亜浪、石田雨園子、青木郭公ほか ◆俳句近代化への潮流 荻原井泉水、泉天郎、長谷部虎杖子、唐笠何蝶、細谷源二、土岐鍊太郎、伊藤凍魚、水野波陣洞ほか ◆花ひらく北の俳句 斎藤玄、寺田京子、比良暮雪ほか ◆俳句の現代 比良暮雪、佐々木丁冬、鮫島交魚子、園田夢蒼花、山岸巨狼ほか

〈アイヌの口承文芸〉〔青柳文吉〕

金田一京助、知里真志保、久保寺逸彦、金成マツ、知里幸恵、萱野茂

〈北海道の川柳〉〔斎藤大雄〕

◆明治～昭和前期 鈴木青柳、北村白眼子、亀井花童子、神尾三休、三輪破魔杖、井上剣花坊、鶴彬、西嶋〇丸、田中五呂八ほか ◆昭和後期～平成7年 西村欣童、高木夢二郎、森田一二、甲野狂水、古田八白子 ◆北海道の川柳社 道央、道南、道東、道北の各結社の活動と結社誌等を紹介。

〈北海道の児童文学〉〔柴村紀代〕

◆明治～昭和20年代 伊東音次郎、支部沈黙、坪松一郎ほか ◆昭和30年代 石森延男、神沢利子、安藤美紀夫、渡辺ひろし、玉川雄介ほか ◆昭和40年代以降 加藤多一、後藤竜二、長野京子ほか

〈千島・樺太の文学〉〔木原直彦〕

夏堀正元、吉村昭、李恢成、寒川光太郎ほか

III 教育普及事業

注：「事業項目」の無印は道負担金事業、※印は財団企画事業。

事業項目		事業名	実施時期(日数)	観覧(参加)者 実績数(人)	備考
教 育 普 及 事 業	加藤多一展関連 アートトーク	「原画・挿絵でたどる加藤多一の文学」(加藤多一氏、酒井忠康氏)	4/26(土)	82	
	加藤多一展関連 朗読会	「作者と聞く朗読の会」 (朗読：本山節彌氏ほか)	5/3(土)、5/17(土)、 5/31(土)	199	
	加藤多一展関連 朗読会	加藤多一作品朗読会 (朗読：サークル「風の音」会員)	5/1～6/15の毎木曜日と 日曜日(5/25、6/1除く)	321	
	加藤多一展関連 児童文学セミナー	「短編小説のちからと未来」(加藤多一氏、後路好章氏、中澤千磨夫氏)	6/7(土)	74	
	加藤多一展関連 往復書簡プロジェクト	童話作家・加藤多一氏とメッセージ を交換する(加藤多一氏、来館者)	加藤多一展会期中	164	
	加藤多一展関連 展示室講話	「馬をめぐる～加藤多一と四つのお話」(寺嶋学芸主幹)	5/10(土)、5/24(土)、 6/14(土)	65	
	吉増剛造展関連 トークセッション	「吉増剛造の現在」(吉増剛造氏、小林康夫氏、高橋世織氏、工藤正廣氏)	6/28(土)	126	
	吉増剛造展関連 鼎談	「言葉のざわめき、おとのねにおりて ゆくとき」(吉増剛造氏、柳瀬尚紀氏、 工藤正廣氏)	6/29(日)	87	
	吉増剛造展関連 鼎談	「エクリチュール、書くことうつつ ことの現在」(吉増剛造氏、高橋世織氏、 工藤正廣氏)	6/30(月)	65	
	吉増剛造展関連 映像ライブ	「キセキ gozo Cine」(Vol 1～6)の 上映と対話(吉増剛造氏ほか)	7/1(火)、7/2(水)、 8/8(金)、8/16(土)、 8/17(日)、8/30(土)	248	
	吉増剛造展関連 映画鑑賞会	「島の唄」「彼岸から」 (主演：吉増剛造氏)	7/20(日)	39	
	吉増剛造展関連 朗読パフォーマンス	「花火の家の入り口で」 (朗読：吉増剛造氏)	8/9(土)、8/10(日)	142	
	加藤幸子展関連 文芸対談	「自然と文学～文学を翼にのせて～」 (加藤幸子氏、梨木香歩氏)	11/1(土)	101	
	加藤幸子展関連 朗読会	「加藤幸子・生きものたちとの朗読 会」(朗読：加藤幸子氏、ピアノ：島 田瑠里氏)	11/2(日)	35	
	加藤幸子展関連 対談	「環境問題と文学～明日のための寓 話～」(加藤幸子氏、小川 巖氏)	11/22(土)	83	
	八木義徳展関連 文芸講演会	「八木義徳と北海道の風土」 (木原直彦氏)	2/1(日)	67	
	※ 八木義徳展関連 朗読会	「八木義徳の世界～ギター演奏と ともに」(朗読：館野直光氏、ギター： 若狭弘樹氏)	1/31(土)	84	
	※ 八木義徳展関連 観覧者参加型事業	「拝啓、八木義徳様」 (八木義徳展観覧者)	八木義徳展会期中	38	
	知床断章展関連 トークと朗読と 縄文太鼓	「トークと叙事詩朗読と縄文太鼓の 午後」(朗読：原子 修氏、縄文太 鼓：茂呂剛伸氏、トーク：山田起雲 氏)	1/11(日)	155	
	※ 連続朗読会	「長野京子さんを偲ぶ夕べ」(朗読： 松井信子氏、チェンバロ：明楽みゆ き氏)	8/1(金)、8/2(土)	182	
※ 文化セミナー	「小説を書くために…『文学賞』：傾 向と対策」(日浅尚子氏、まさきとし か氏)	3/28(土)	70	北海道新聞社と共 催	
※ ウィークエンド・ カレッジ	前期・「近代文学とサハリン」等6講座 後期・「シュベルト愛と痛みの詩学」等2講座	前期・5～9月の土、日 後期・11～2月の土、日	367		
※ ロビーコンサート	「文学館ロビーコンサート2008」 バロック音楽の調べ(チェロ：坪田 亮氏ほか)	11/3(月)	68		
夏休み文学道場	「中・高生のための創作講座」 (講師：工藤正廣氏ほか)	7/30(水)～8/1(金) 3日間	28		

事業項目		事業名	実施時期(日数)	観覧(参加)者 実績数(人)	備考	
教 育 普 及 事 業		ファミリー文学館 展覧会	「言葉を観る／映像を書く」 岩井成昭展	9/18(木)～10/13(月) (23日間)	1,128	
		ファミリー文学館 ワークショップ	「言葉を観る／映像を書く」 小説の1シーンを60秒のビデオ映 像化(岩井成昭氏、応募者)	9/18(木)～9/24(水) (1週間)	119	
		ファミリー文学館 事業	「第3回夏休み小中学生短歌コンテ スト」(審査員:内田 弘氏、阿知良 光治氏ほか)	応募期間7/8(火)～ 8/31(日) 表彰式9/20(土)	1,662	
	※	わくわく こどもランド	紙芝居、読み聞かせ、工作教室など に親子で参加	13回開催	603	
		映画鑑賞会	「ひばりの花笠道中」 (観世光太原作、1962年東映)	5/25(日)	91	
		映画鑑賞会	「男はつらいよ 寅次郎相合い傘」 (山田洋次原作・監督、1975年松竹)	8/3(日)	91	
		映画鑑賞会	「雪の断章(情熱)」 (佐々木丸美原作、1985年東宝)	11/16(日)	101	
		映画鑑賞会	「めし」(林美美子原作、1951年東宝)	3/1(日)	100	
		「文字・活字文化の 振興事業」シンポジウム	「文字・活字を愉しむ」(熊谷ユリヤ 氏、前川公美夫氏、立花峰夫氏)	10/26(日)	14	
	※	市町村連携事業 「文学館出前講座」	市町村、学校、文化団体等との共催 で、講演会や朗読会等を開催	14会場	1,303	
	※	読書普及活動	「文学館古書バザール」	11/15(土)	120	
	※	文化施設連携事業	「カルチャーナイト2008」 展示室の夜間開館等を実施	7/25(金)	238	
	※	小学生向け事業	「文学館たんけんクイズ」	通年(308日間)	564	
		文学資料の利用	閲覧室での研究、調査、読書等	通年(308日間)	4,849	
		文学愛好団体の活動	文学愛好団体が講堂利用(貸館)	通年(308日間)	1,261	
※	文化公演の活動	コンサート、朗読会の会場に利用	閉館後の夜間	798		
教育普及事業参加者 計				15,932		

IV 北海道文学に関する調査研究事業

- ① 企画展「馬たちがいた 加藤多一と北の風景」関連資料調査
- ② 特別企画展「詩の黄金の庭 吉増剛展」関連資料調査
- ③ ファミリー文学館「岩井成昭展 言葉を観る／映像を書く」関連資料調査
- ④ 企画展「鳥のことば・人のことば 加藤幸子の見つめる世界」関連資料調査
- ⑤ 企画展「文学の鬼を志望すー八木義徳」関連資料調査
- ⑥ 特別企画展・企画展の図録作成に要する調査
- ⑦ ほくでん「フロンティア」関連資料調査
- ⑧ アイヌ口承文芸関連資料調査
- ⑨ 三浦綾子関連資料調査
- ⑩ 小林重予関連資料調査
- ⑪ サハリン関連資料調査
- ⑫ 藤倉英幸関連資料調査

V 文学愛好団体等の活動に対する支援事業

次の団体の事業に対して、後援名義並びに主共催名義の使用を承認して支援した。

- ① 中川町教育委員会
「斎藤茂吉記念第15回中川町短歌フェスティバル」
(平成20年6月1日～9月21日 中川町教育委員会)
- ② Studio La Tortue
「亀井貴幸ギターリサイタル」
(平成20年6月13日 北海道立文学館地階ロビー)
- ③ ギター大好き恵子ママの部屋
「益田正洋ギターコンサート」

- (平成 20 年 6 月 20 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ④ 宮下祥子ギター教室
「宮下祥子ギターコンサート」
(平成 20 年 7 月 4 日 北海道立文学館地階ロビー)
 - ⑤ 佐藤洋一ギターコンサート実行委員会
「佐藤洋一ギターコンサート SPAIN」
(平成 20 年 8 月 28 日 北海道立文学館地階ロビー)
 - ⑥ 絵本・児童文学研究センター
第 13 回文化セミナー「みみをすます」一河合隼雄の遺したものー
(平成 20 年 11 月 23 日 小樽市民会館)
 - ⑦ 社団法人札幌市友会「札幌時計台」、NHK 文化センター朗読教室松井信子クラス
時計台建設 130 周年記念
「北海道ゆかりの文学を読む」10 周年記念朗読会
(平成 20 年 12 月 7 日 札幌市時計台ホール)
 - ⑧ 「北海道の出版文化史展」実行委員会
「北海道の出版文化史展」
(平成 20 年 11 月 25 日～12 月 4 日 紀伊國屋書店札幌本店二階ホール)
 - ⑨ 社団法人全日本川柳協会、全日本川柳 2009 年札幌大会実行委員会
「第 33 回全日本川柳 2009 年札幌大会」
(平成 21 年 6 月 28 日 京王プラザホテル札幌) ※ 21 年度事業
 - ⑩ NPO 「東アジア隣人ネットワーク」
「忠清南道李完九知事と語る」
東アジアの中の半島と列島 ー地域と社会から人間を考えるー
(平成 21 年 2 月 5 日 札幌パークホテル)
 - ⑪ ギター大好き恵子ママのホームページ
「國松竜次ギターリサイタル」
(平成 21 年 3 月 14 日 北海道立文学館地階ロビー)
 - ⑫ 加賀屋恵子音楽事務所
「春に奏でるヴァイオリン&ギターの調べ」
(平成 21 年 4 月 12 日 北海道立文学館地階ロビー) ※ 21 年度事業

VI 啓発広報事業

- ① 施設案内、各展覧会ポスター・ちらし及び講演会・セミナーちらし等を制作・発行。
- ② 「北海道文学館報」第 73 号 (4 月 21 日)、第 74 号 (6 月 20 日)、第 75 号 (10 月 21 日)、第 76 号 (2 月 3 日)

VII 刊行物の刊行事業

- ① 企画展「加藤多一展」図録の刊行。
- ② 特別企画展「吉増剛造展」図録の刊行。
- ③ 企画展「八木義徳展」図録の刊行。
- ④ 平成 19 年度年報の刊行。
- ⑤ 北海道文学館叢書「林檎林の二本道」の刊行。
- ⑥ 北海道文学館 NP 選書「魂の歌手」の刊行。

VIII その他の付帯事業

- ① 博物館実習生の受け入れ
博物館実習生ー13 名 (7 月～12 月、一人 2 週間)
*北海道教育大 5 名、東海大 3 名、北翔大 2 名、札幌市立大 2 名、関東学院大 1 名
- ② 古書バザールの実施
文学館ロビーで通年実施したほか、7 月と 11 月の 2 回「古書市」を開催。